

令和元年度 練馬区立向山小学校 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科における個に応じた指導を推進し、習得と活用を図る。 2～6年(習熟度別編成)</li> <li>・話す、聞く、伝え合う等コミュニケーション力を高める。</li> <li>・全教室に配置されている実物投影機を活用し、分かりやすい授業を実施する。同時に、新たに配置された電子黒板の活用を進める。</li> <li>・夏季休業日に学力補充教室を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の見直しにより授業時数の確保に努める。</li> <li>・基礎・基本の定着や読書活動の推進を目指し朝学習・朝読書の時間を設定する。</li> <li>・年間8回の体育朝会を行うとともに、マラソン月間や長縄月間を設定することで、児童の運動に対する意欲を高め、体力の向上を図る。</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育を進め、体力の向上、国際理解教育の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究主題「主体的に考え 伝え合い 生き生きと活動する児童の育成～学級活動(1)におけるよりよい合意形成を目指して～」の実践を通して授業改善を図る。</li> <li>・専門性の高い外部講師からの指導・助言を生かして、指導技術を高める。</li> <li>・授業研究を通し、授業力の向上を図る。</li> <li>・若手教員に対して、OJTにより授業力向上等の課題解決を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の評価規準を見直し、評価規準に基づく評価を行い、指導と評価の一体化を図る。</li> <li>・学校行事や学校公開後に行うアンケート調査の結果に基づき改善策を立てて、授業改善に活かす。</li> <li>・保護者・学校評議員による評価を活用し、教育課程の編成に活かすとともに、学校だより等でその結果を返していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより、ホームページや保護者会等を活用し学校経営方針を周知する。</li> <li>・校内の水田や地域の畑を活用し、地域の農家の方の指導を受けながら農作物栽培体験を行う。</li> <li>・「学校・地域連携事業」を活用して、「地域未来塾」を実施する。</li> </ul>
				<b>小中一貫教育の視点</b>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫実践校として中学校との連携を一層図る(家庭学習の連続性、生徒会交流、部活動体験等)とともに、課題改善カリキュラムの活用を進める。</li> </ul>
<b>授業改善策の検証方法</b> 国・都の学力調査結果、東京ベーシック・ドリル診断テスト結果、日常の授業観察、児童・保護者アンケート等により検証・改善・実践・報告に努める。				